

小学校

s6-13

6学年

資料の散らばり

【ねらい】

度数分布を表す表やグラフについて理解する。

【特徴】

- ◇ 目盛りをクリックすると度数をドットで表すことができます。
- ◇ 目盛りは、テキストで自由に入力できます。
- ◇ 左右からシャッターが出るので、範囲を限定できます。
- ◇ ヒストグラムの仕組みが表せます。

【関連する単元】

- ◇ 中学1年「度数分布」

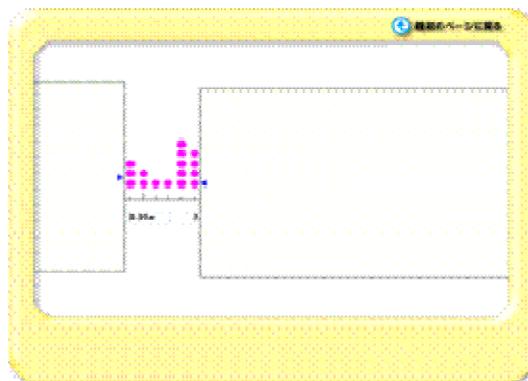
【活用場面】 導入段階での課題提示、算数的活動の後の検証、知識・技能の定着



度数分布の仕組みが視覚的に捉えられます

任意に用意したデータを基に、度数分布の表し方の学習を進めることができます。

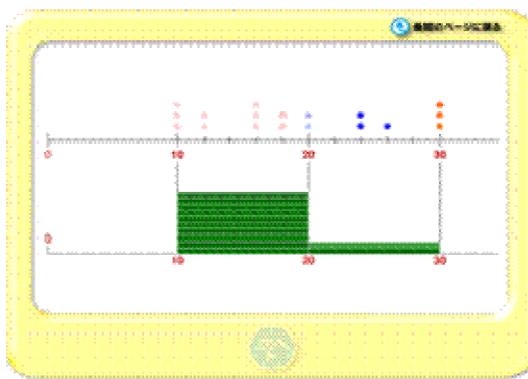
- ◇ 任意に用意したデータに合わせて、数直線に目盛りを入れます。
- ◇ あらかじめ児童に調べさせておいた結果を発表させ、目盛りをクリックしながらドットを打っていきます。



「以上、未満」の区切りで度数を数えることの理解に有効です

シャッターを利用することで、以上、未満で区切った際の範囲を限定して見せることができます。

- ◇ 入力し終わった度数分布を「以上、未満」の区切りで分けます。
- ◇ 区切り1つ分を残し、その他の区切りはシャッターで隠して数えさせます。
- ◇ その際、未満の目盛りの上の度数は次の区切りに入れることをおさえます。



ヒストグラムの仕組みを視覚的に捉えさせることに有効です

柱状グラフが描かれる仕組みを動的に捉えさせることができます。

- ◇ 棒グラフとの違いに注意して、シミュレーションを見せます。
- ◇ 柱の幅が以上、未満の範囲を示していることに気付かせます。
- ◇ その範囲内の度数が柱の高さになっていることを理解させます。
- ◇ ドットの色の違いから、特に未満の目盛りの上の度数が次の区切りに入ることを理解させます。
- ◇ 最初に描いた度数分布をヒストグラムに表させます。